



2024年9月30日

各 位

会社名 株式会社CLホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 内川淳一郎  
(東証スタンダード・コード番号 4286)  
問合せ先 執行役員 経営企画・管理管轄 野田直樹  
(TEL 03-6890-1881)

### 『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』オープンに関するお知らせ

株式会社CLホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：内川淳一郎、東証スタンダード：コード番号4286、以下、当社）の子会社である株式会社エルティアーアール（本社：東京都港区、代表取締役社長：谷丈太朗、以下、LTR）は、この度、株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：大竹健、以下、ソニー・クリエイティブプロダクツ）が「CREATIVE MUSEUM TOKYO」をオープンすることに伴い、ミュージアム体験の延長線上で、IPコンテンツの世界観を体感できる、ミュージアム併設型カフェ『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』をオープンすることとなりましたので、お知らせいたします。

#### 1. 概要と目的

当社グループは、中期経営方針に則り、「エクスペリエンス」と「エンターテインメント」を掛け合わせた「エクス・テインメント」（注1）ビジネスを加速しています。その一環として、LTRは、IPコンテンツと飲食体験を掛け合わせたフードエンターテインメント事業を専業とし、全国数十カ所でテーマカフェ（注2）を展開しています。これまで一等地と呼ばれる場所で、「認知度」・「感度」・「集客力」の高いIPコンテンツを、可変的に楽しめるテーマカフェとして、多くのファンの方に認知されてきました。

そしてこの度、ソニー・クリエイティブプロダクツが新たに「CREATIVE MUSEUM TOKYO」をオープンすることに伴い、LTR初のミュージアム併設型カフェ『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』をオープンすることとなりました。

『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』は、アニメ、マンガ、音楽等のポップカルチャー、現代アートやデザインなど、多彩な領域の展覧会を開催する「CREATIVE MUSEUM TOKYO」の変化に応じて、可変的に楽しめる長期常設型テーマカフェとして、新しい食体験を提供していきます。本取組みを通じて、LTRは、多くのお客様に楽しんでいただける空間づくりを行うことで、身近な非日常体験を創出し、IPコンテンツと業態の両軸拡大による「テーマカフェブランドの多角化」をさらに加速していく考えです。

## 2. 『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』の内容

『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』は、アニメ、マンガ、音楽等のポップカルチャー、現代アートやデザインなどの多彩な領域の IP コンテンツを大空間で体感できる「CREATIVE MUSEUM TOKYO」に併設した、長期常設型カフェです。「変容」をコンセプトに、ミュージアムの展示内容に呼応した期間限定のオリジナルメニューや空間演出をお楽しみいただけます。



### <店舗情報>

#### (1) 店名

『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』

#### (2) 所在地

東京都中央区京橋1丁目7番1号 TODA BUILDING 6階

#### (3) 開催期間

2024年11月2日(土)～

#### (4) 営業時間

11:00～22:00(予定)

### ※第1弾『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』について

「CREATIVE MUSEUM TOKYO」第1弾の展覧会テーマは、「アニメ「鬼滅の刃」柱展 ―そして無限城へ―」を予定しており、『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』もその展示内容に呼応し、『アニメ「鬼滅の刃」柱展 ―そして無限城へ― カフェ produced by ufotable Cafe』を開催する予定です。

## 3. 今後について

LTRは、『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』を、ミュージアム体験の延長線上で IP コンテンツの世界観を体感できる、体験型フードエンタメ空間として位置づけ、『アニメ「鬼滅の刃」柱展 ―そして無限城へ― カフェ produced by ufotable Cafe』を皮切りに、今後も「CREATIVE MUSEUM TOKYO」での展覧会企画に応じたテーマカフェの開催を順次予定しています。また、『CREATIVE MUSEUM TOKYO CAFE』は、ミュージアムの切替え期間中も営業を行う予定です。

なお、本件が、2024年12月期の当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後、重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

(注1)「エクス・テインメント」について

「エクスペリエンス」と「エンターテインメント」を掛け合わせた造語で、エンタメ顧客体験価値を表します。

(注2)「テーマカフェ」について

コンテンツコラボレーションカフェ(コラボカフェ)のことで、キャラクター、アーティスト、

映画、アニメ、ゲームなどの様々な IP コンテンツとカフェを融合させ、IP コンテンツの世界観をファンの方に存分に楽しんでいただける空間を創造しています。

以上